

## 34. 日系ブラジル人児童への日本文化の伝承

グループ名 シニアボランティアグループ【ファロウ】

代表者名 山瀬 公志

### ① 活動の目的

地域に暮らす日系ブラジル人の児童は、ルーツが日本にあるにもかかわらず、日本の文化を知らないまま日常の生活を送り、ともすれば、日本の文化を知らないままブラジルに帰国してしまうケースもあったと聞いた。そこで私たちは、日系ブラジル人の子どもたちに日本の文化を伝承したいと思い、将棋、習字、凧づくり、寿司の調理体験、大正琴の演奏、折り紙など、それぞれの得意分野を生かし、日本の文化の伝承をし、異文化と交流することで児童の将来に役立てて欲しいと願っている。

### ② 活動概要

私たちシニアボランティアグループ【ファロウ】の活動のきっかけになったのは、平成20年に岡山県総社市内にブラジル人学校「エスコラ・モモタロウ・オカヤマ」が出来たことによる。同学校はNPOで運営しており、行政などの支援がないにもかかわらず地域の日系ブラジル人の問題解決のために活動をしていると聞き、私たちシニアでも何か手伝うことが出来るのではないかと思いメンバーを募り活動を始めた。

ボランティア活動を始めた当初は、学校の宿題の手伝い、日本語学習などを中心に活動をしていたが、次第に将棋の指導、大正琴の演奏などが出来るシニア世代のメンバーが加入してきたので、現在では「日本文化の伝承」、「異文化交流」を柱に活動している。

活動は、主に毎週土曜日とし、参加出来るメンバーが各々参加し、それぞれが活動しているが、調理実習などの時にはメンバーが協力し開講している。

今回、助成金をいただき、日系ブラジル人児童たちは、凧づくり、ひなまつり調理実習、七夕の調理実習、将棋、大正琴の演奏など多くの日本文化に触れることが出来た。また、私たちにとっても普段、交流することが無かった児童たちの保護者とも調理実習などを通して交流することが出来、貴重な経験が出来た。

今後もさらに、「日本文化の伝承」を通して、異文化交流をすすめていきたい。

「たなばた&調理実習」

こよりづくり



飾りつけ



手巻き寿司



飾りつけ



「ひなまつり&調理実習」

調理風景



折り紙でおひなさま



おかあさんも一緒に



ブラジル人のおかあさんたちと一緒に  
調理実習の作業



「将棋」  
みんなで勉強中



日本人の子どもとも対局



「習字」



③ 決算報告書

収入	大同生命厚生事業団助成金		100,000
		収入合計	100,000
支出	たなばた調理実習 (参加31人)		
	材料代	12,400円	12,400
	会場代	4,000円	4,000
	ひなまつり調理実習 (参加34人)		
	材料代	13,600円	13,600
	会場代	4,000円	4,000
	凧づくり	材料代	4,200円
	大正琴調律器	8,400円	8,400
	同上 楽譜 (10セット)	12,000円	12,000
	同上 ピック (10枚)	1,400円	1,400
	将棋セット (2セット)		
	将棋盤	6,300円	6,300
	駒	1,890円	1,890
	初心者用将棋セット		
	どうぶつしょうぎ (2セット)	2,000円	2,000
	ごろごろどうぶつしょうぎ (1セット)		
		1,500円	1,500
	習字用消耗品	12,400円	12,400
	保険料 (スタッフ)	5,250円	5,250
	その他消耗品等	10,660円	10,660
		支出合計	100,000